

山梨の土地改良

VOL. 165 2016.10



第9回やまなし農村風景写真コンクール・富士山賞 渡辺希美子氏「ホーキ草の咲く頃」

CONTENTS

- 平成28年度第1回農業農村整備技術研修会
- 平成28年度土地改良区等役職員研修会——1
- 平成28年度換地計画実務研修会
- 農業農村整備の集い——2
- 平成28年度農業農村整備推進協議会表彰式及び総会——3

- 山梨県農業農村整備推進協議会による要請活動——4
- 第1回やまなし水土里を育む集い——5
- 平成29年度農業農村整備事業関係概算要求について——6
- 熊本地震募金についてのお礼とご報告——7

平成28年度第1回農業農村整備技術研修会

6月13日、山梨県自治会館講堂において、平成28年度第1回農業農村整備技術研修会を開催しました。

主催は山梨県土地改良事業団体連合会、（一社）山梨県建設業協会、山梨県土地改良技術協議会の3団体で、農業農村整備事業の関係者へ国や県の情報や、新しい技術の提供を目的としています。主催団体の会員をはじめ、県や市町村の職員ら280名が参加しました。

主催者の挨拶として、山梨県土地改良事業団体連合会 白倉会長、山梨県建設業協会 櫻井副会長、山梨県土地改良技術協議会 望月会長が挨拶を述べ、山梨県農政部 渡邊技監より来賓の挨拶を頂きました。

講演は、山梨県農政部耕地課 福嶋課長による「山梨県の農業農村整備事業に係る施策について」、（一財）公会計研究協会 藤原参与による「農業農村整備事業と最近の検査報告事例」、最後に全国農村振興技術連盟 林田委員長による「公共事業としての農業農村整備事業の在り方について」講義を行いました。

この研修で農業農村整備事業の技術者の技術力向上に役立てばと思います。



白倉会長 主催者挨拶



研修会の様子

平成28年度土地改良区等役職員研修会

6月14日、山梨県自治会館研修室において、平成28年度土地改良区等役職員研修会を開催しました。

研修会には、土地改良区等の役職員など総勢50名が出席しました。

当連合会堀口指導監の司会進行で開会し、主催者挨拶として、当会白倉会長が日頃よりのご支援と研修会参加への御礼を述べました。その後、山梨県農政部耕地課福嶋課長より来賓の挨拶を頂きました。

研修は、山梨県農政部耕地課指導管理担当伊藤副主幹より「個人情報保護法改正に伴う今後の取組みについて」、農林水産省関東農政局農村振興部土地改良管理課団体指導・資金係五味田係長より「土地改良区体制強化事業の概要について」、関東農政局農村振興部土地改良管理課黒田行政専門員より「土地改良区役員の責務について」と題して講義されました。

どの講義も、土地改良区が直面している重要な課題であり今後の実務の参考となる研修会となりました。



研修の様子



黒田専門員の講義

平成28年度換地計画実務研修会

6月23日、山梨県自治会館研修室において、平成28年度換地計画実務研修会を開催しました。研修会には、農政部職員、県内市町村職員、土地連職員など総勢64名の出席がありました。

当連合会五味課長補佐の司会進行で開会し、山根参考事より、主催者の挨拶を行い、続いて山梨県農政部福嶋耕地課長より来賓の挨拶を頂きました。

午前中は、山梨県農政部耕地課向山換地管理員による「工事実施に伴う換地事務処理」、山梨土連堀口指導監による「換地業務のながれについて」講義がありました。また、午前中から午後にかけて、「土地改良法・換地理論」と題して、全土連換地センター浦山所長より、講義を頂きました。

山梨県内では現在、峡東地区を中心とする果樹産地での圃場整備や品目別団地化、北巨摩地区の大規模企業誘致等を計画している中、今回の研修は換地の基礎的な手続きや法律、理論などについて学ぶことができ、大変有意義な研修となりました。



浦山所長による講義

農業農村整備の集い

5月30日、東京都平河町砂防会館「シェーンバッハ・サボー」において、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の主催で、『農業農村の集い』が開催されました。山梨からは役員2名と会員土地改良区理事長等24名が出席しました。

この集いは、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、それぞれの現場で直面している喫緊の課題を再確認し、これらの諸課題に緊急に対応するべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催するものです。全国から土地改良関係者ら1,000名が参加し、農業農村整備事業の推進を訴えました。

二階全土連会長から主催者の挨拶があり、続いて来賓として加藤農林水産大臣政務官より祝辞を頂きました。その後、自民党稻田政務調査会長、公明党石田政調会長から挨拶を頂き、両氏とも土地改良の重要性を強く訴え予算確保に努めることを力説しました。

続いて、全国各地の土地改良事業を巡る情勢について都道府県土連会長会議進藤顧問から報告がありました。

農業農村整備事業の事例発表では、本県笛吹川沿岸

土地改良区の横田専務理事より大規模畠かん地区において農業競争力の強化の取り組みについての発表があり、更なる補助事業の充実と予算の確保について訴えました。

要請案文は全会一致で採択され、最後に一同でガババロウ三唱を行い、集いは盛会裏に終了しました。



二階会長挨拶

平成28年度農業農村整備推進協議会表彰式及び総会

6月24日、山梨県自治会館講堂において、山梨県農政部 福嶋耕地課長他、各農務事務所幹部を来賓に迎え平成28年度農業農村整備推進協議会表彰式及び総会を開催しました。

当協議会は、県内各市町村、土地改良区、農業協同組合等が実施する農業農村整備事業の推進について、会員相互の連携を図るとともに、調査・研究・協議等を行い事業の円滑な施行を図ることを目的としています。

表彰式では、農業農村整備事業、農地集団化事業等について成績顕著にしてかつ他の模範となる者を賞し、今年度は万力山路基盤整備推進委員会 前委員長辻勝久様、北杜市農業委員会 副主幹福田和久様、上野原市建設経済部経済課 主査臼井修様の3名が表彰されました。

総会では、平成27年度事業、決算報告に続き平成28年度事業計画、会費の賦課徴収の基準、収支予算について審議され全員一致で承認されました。

事業計画において、今年度も自民党、公明党、財務省、農林水産省への要請活動を県関係団体と連携して行う予定です。



白倉会長挨拶



辻勝久前委員長受賞の様子

議 事

- 第1号議案 平成27年度事業報告について
- 第2号議案 平成27年度収支決算について
- 第3号議案 平成28年度事業計画（案）について
- 第4号議案 平成28年度会費の賦課徴収の基準（案）について
- 第5号議案 平成28年度収支予算（案）について
- その他

功労者表彰 功績概要

個人名	主たる公務（職名）	功績の概要
辻 勝久	県営畠地帯総合整備事業 万力地区 (万力山路基盤整備推進委員会 前委員長)	万力山路基盤整備推進委員会の発足時から推進委員長を務め、事業を円滑に進めるため地元関係者や地権者の意見調整を行い、ほ場整備の実施に際し工事の完成まで地権者の調整に尽力された功績は極めて大きい。
福田 和久	北杜市 農業委員会 副主幹	畠地帯総合整備事業、中山間地域総合整備事業等、北杜市で実施している農業農村整備事業の推進に積極的に関与し、他の模範になるものであり事業推進の功績は極めて大きい。
臼井 修	上野原市 建設経済部 経済課 主査	中山間地域総合整備事業、ため池等整備事業等に計画段階より従事し、地元説明会及び用地交渉などに積極的に取り組まれ、農業農村整備事業の推進に多大な貢献をされた。

山梨県農業農村整備推進協議会による要請活動

山梨県農業農村整備推進協議会は8月18日、昨年度に引き続き農業農村整備事業関係の要請活動を行いました

県選出の宮川典子衆議院議員、森屋宏参議院議員に要請を行った後、農林水産省 磯崎陽輔農林水産副大臣を訪れ、平成28年度、29年度農業農村整備事業関係予算の十分な確保、中山間地域における定住促進のための補助事業の創設、多面的機能支払交付金制度の推進のための十分な予算の確保の必要性を訴え、当協議会 望月仁司副会長が要請書を手渡しました。

これらの要請に対し磯崎副大臣は、「補正、当初予算要望は全国的にあるが予算確保に向け努力していく。中山間の新規については、補正予算で中山間地域の所得向上対策として新たに創設する。多面的については制度・法律改正に伴い3年目になり、事業が浸透している。今後も頑張って

取り組んでもらわないといけないので、予算確保が厳しければ事務の簡素化を検討していきたい」と回答を頂きました。

同日、参議院議員会館会議室で公明党上田勇農林水産部会長他幹部、進藤金日子参議院議員、財務省・岩元主計官を訪れ要請書を提出しました。

要請内容

- 平成28年度、平成29年度農業農村整備事業関係予算の十分な確保について
- 中山間地域における定住促進を図るための補助事業の創設について
- 多面的機能支払制度の推進のための十分な予算の確保について

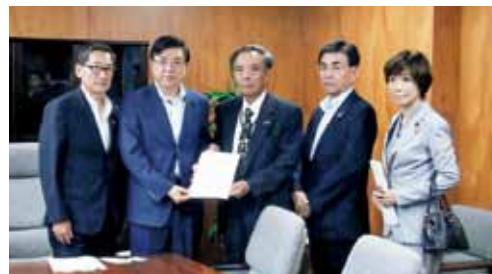
要請要旨

我が国の農業・農村は、超高齢社会、本格的な人口減少社会の到来に伴う担い手の高齢化や減少、今後発効を控えるTPP協定による経済の国際化など重大な課題に直面しております。農業・農村の体質強化を図っていくことが強く求められています。

このような中、国においては平成28年6月2日に閣議決定された骨太の方針「経済財政運営と改革の基本方針2016」において、攻めの農林水産業を展開し、成長産業化を進めるとともに、美しく伝統ある農山漁村を次世代に継承し、夢と希望の持てる「農政新時代」を創造していくため、土地改良事業の一層の推進が昨年に引き続き掲げられたことは、農業農村整備事業を推進する私どもにとって大変心強い限りであります。

本県におきましても、平成27年12月に策定した農業振興の基本指針「新・やまなし農業大綱」に農業の競争力を高める基盤整備の推進や農村地域の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化対策など多くの農業農村整備事業関係施策を盛り込み、山梨農業が地域の魅力を発信し続け、地域経済の牽引役となるよう、積極的に取り組んでいるところであります。

山梨県農業農村整備推進協議会といたしましても、国、県の動きに呼応し、本県農業・農村の維持、発展に向けて、農業農村整備事業のより一層の推進に全力を傾注していく所存でございますので、次の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



農水省 磯崎副大臣へ



公明党 上田農林水産部会長へ



財務省 岩元主計官へ

第1回やまなし水土里を育む集い (多面的活動組織の表彰と活動報告)



村山の郷・育む会 受賞

山梨県多面的機能推進協議会は9月8日、第1回やまなし水土里を育む集いを開催しました。この集いは、多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織が、より円滑に活動を実施する為のきっかけづくりを趣旨としています。

始めに主催者を代表して山梨県多面的機能推進協議会 加藤会長より本県の活動の取組状況や今回の

「集い」開催の趣旨、受賞組織へのお祝いの言葉を頂きました。続いて山梨県後藤知事は来賓の挨拶の中で、山梨県が誇る美しい農村風景、多面的機能を次世代へ継承するべく、地域が一体となった取組が重要であると述べられました。また、北杜市白倉市長（山梨土連会長）より来賓の挨拶として、本事業は農業者と地域住民が共同で活動を実施する大変有意義な事業である。活動をとおして農業農村の重要性が浸透し、人と人との繋がりが深まることを願う

表彰団体

表彰名	団体名	活動内容
山梨県知事賞	村山の郷・育む会（北杜市）	<ul style="list-style-type: none">○地域住民との交流会、講演会を多数開催○圃場回りの希少植物の観察会の実施○地元小学校との連携した活動の実施
山梨県農政部長賞	山梨地域環境保全活動委員会（山梨市）	<ul style="list-style-type: none">○自然保護事業に尽力○剪定枝焼却防止活動の実施○小学生による河川浄化啓蒙看板の作成設置
山梨県多面的機能推進協議会会長賞	平林地域環境保全活動委員会（富士川町）	<ul style="list-style-type: none">○耕作放棄地を活用した棚田オーナー制度の取組○体験農園による都市交流の実施○地域特産品（平林トマト）の復興を通じて地域活性化の取組
奨励賞	小荒間資源保全会（北杜市）	<ul style="list-style-type: none">○花の植栽、蕎麦の花の景観形成活動○看板設置等の広報活動
	二ヶ堰環境資源保全委員会（都留市）	<ul style="list-style-type: none">○他団体との連携を図り、耕作放棄地解消○紫陽花の植栽など、環境美化の推進

と述べられました。

表彰団体は、地域住民と連携し農村環境保全などの多面的機能保全活動を活発に行った組織が表彰されました。

基調講演では、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 研究部門長 山本徳司氏より、『多面的機能保全活動を地域活性化に繋げる』と題して講演されました。その後、表彰団体を代表して3組織の方々が活動報告を行いました。

県内各地より総勢365名の参加をいただき、第1回やまなし水土里を育む集いは成功裡に終了することができました。参加者からは『表彰組織の活動を参考にして、我々の今後の活動に活かしたい』『具体的な取組が紹介され、分かりやすかった』『次回が楽しみ』などの意見が寄せられ、今後の活動に向け大変有意義な集いとなりました。



後藤知事 来賓挨拶



山梨地域保全会 事例発表



平林活動委員会 事例発表

平成29年度農業農村整備事業関係概算要求について

農林水産省は8月31日、平成29年度農林水産予算概算要求を財務省に提出した。農村振興局予算の総額6313億円のうち、1358億円が非公共事業費、4956億円が公共事業費として計上されている。平成28年度の当初予算と比べると、それぞれ11.8%、19.6%増額されている。公共事業のうち、3555億円が農業農村整備事業、1280億円が農山漁村地域整備交付金、39億円が海岸事業として計上されている

る。いずれも平成28年度当初予算と比べて20%の増額要求となっている。このほか、災害復旧事業等については、同額の82億円が要求されている。

平成29年度の農業農村整備事業関係予算の概算要求額は4584億年にのぼっており、平成28年度当初予算額に比べると20%の増額要求となっている。その内訳は表のとおりで、いずれも対平成28年度当初予算比で20%の増額となっている。

農業農村整備関係予算

(単位：億円)

区分	28年度当初予算額	29年度要求・要望額	対前年度比 (%)
農業農村整備事業	2,962	3,555	120%
農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）	735	882	120%
農地耕作条件改善事業（非公共）	123	147	120%
計	3,820	4,584	120%

農村振興局主要予算総括表

(単位：億円)

事項	28年度当初予算額	29年度要求・要望額	対前年度比 (%)
非公共事業	1,215	1,358	100%
公共事業	4,143	4,956	111.8%
農業農村整備事業	2,962	3,555	119.6%
農山漁村地域整備交付金	1,067	1,280	120%
海岸事業	33	39	120%
災害復旧事業等	82	82	120%
計	5,358	6,313	117.8%

(注)計数は四捨五入のため、端数において合計と一致しないものがある。

参議院選挙に寄せて

私は、この度の参議院選挙におきまして、当選の榮に浴することができました。

今後は、土地改良に関係する方々が心を一つにしていただいた結果を胸に刻み、皆様のご期待に応えるよう頑張ってまいります。

さて、私は、全国を回り皆様から色々なご意見を伺ってまいりましたが、農政新時代を拓いていく上で、その基盤となる農地と水利施設の保全と機能の向上に不可欠な予算の確保が必要であるとの認識を深くしたところです。

私は、「土地改良は日本の命綱」であることを強く訴えてまいりました。これからも固い決意の下、微力ではありますが、皆様とともに活動してまいる所存であります。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、貴県土地改良事業団体連合会の益々の発展と、会員の皆様お一人おひとりのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

平成28年8月吉日



都道府県土地改良事業団体連合会
会長会議顧問
参議院議員

進藤 金日子

熊本地震募金についてのお礼とご報告

会員の皆様にご協力をお願いしておりました、熊本地震の義援金は、総額610,000円となりました。義援金は、被災された土地改良区等の皆様にお役立て頂けるよう、全国土地改良事業団体連合会より熊本県土地改良事業団体連合会へ贈呈されました。

皆様の温かいお気持ちに感謝するとともに、被害を受けられました皆様の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

行事予定表

- 10/14 第1回 山梨土連監事会 土連役員室
10/15、16 山梨県農業まつり 小瀬スポーツ公園
10/21 第2回 山梨土連理事会 ホテルやまなみ
10/25 全国土地改良大会 石川大会
いしかわ総合スポーツセンター
11/9 疏水ネットワークin道前道後用水2016（愛媛県）
11/15 山梨県知事へ要請活動 山梨県庁
11/18 関東一都九県土地改良連合会秋季総会・
要請活動 永田町
11/21 山梨県農業農村整備推進協議会要請活動
財務省・農水省他
11/25 土地改良区等役職員研修会 自治会館
11/28 全国水土里ネット 農業農村の集い 砂防会館
11/29 第2回 農業農村技術研修会 自治会館

三次元空間設計システムの活用

昨年度より三次元空間設計・解析システムを導入しました。

このシステムは、様々な解析ツールが用意され、流水経路、傾斜分布、任意点での断面、堆砂計算、がけ崩れ、土石流などの地形の変化量の計算他様々です。

また、これらの計算結果を視覚的に分かりやすく表示することも可能となります。

今後、受託業務における段階的な検討や地元説明資料等に積極的に活用することとしています。



三次元システムによる構想計画

みどり 水土里ネット とは



… 農業用水、地域用水などを意味



… 土地、農地、土壤などを意味



… 農村空間、農家や地域住民が一体
となった空間などの意味



… 豊かな自然環境や美しい景観を意味し、
おいしい水、きれいな空気など清廉な
イメージを表現



山梨の土地改良 VOL.165

発行：平成 28 年 10 月

発行者：山梨県土地改良事業団体連合会
〒 400-8587 山梨県甲府市蓬沢 1 丁目 15 番 35 号 自治会館 5 階
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174
URL : <http://www.yamanashi-doren.or.jp>
E-mail : syomu@yamanashi-doren.or.jp

